

エレベータシャフト



施工状況



坑口処理



掘削 + ずり出し



吹付コンクリート

型式

**ロックボルト・吹付け工法
(NATM工法) トンネル**

寸法

**内空断面Φ4.2m、
標準覆工コンクリート厚400mm**

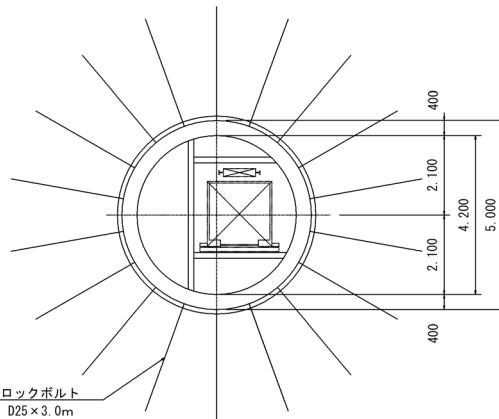
延長

トンネル部47.2m、坑口部2.0m

配置

坑口標高EL186.0m (EV棟地下室基礎高)、底盤標高EL137.5m

断面図

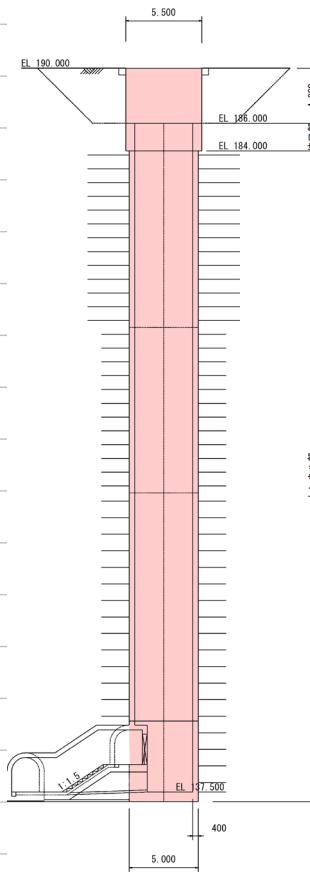


ロックボルト



覆工

構造図



施設概要

管理庁舎からダム本体監査廊及び放流設備操作室へアクセスするための施設であり、中には、エレベータ（2021年12発行）が設置されている。

放流設備を設けた仮排水トンネルとの離隔を確保するため、管理庁舎と分離した配置となっており、掘削方法は、上端部はライナープレートによる土留めを行い、下部はNATM工法である。

ランダム情報

立坑の内部は、エレベータが昇降するスペースと維持管理用スペースに区分され、維持管理用スペースにはタラップが設けられ、エレベータ停止時にも約50mの高低差を昇降可能となっている。